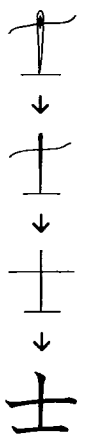
士

四年

画数 3
筆順 一 十 士
オン シ
クン

成り立ち



〝数〟の初めの意味の〝一〟と、終わりの意味の〝十〟とを組み合わせて作った字です。

「一から十まで、なんでもよく知っている人」という意味の字で、「よく学問にはげむ人」「学問を身につけた人」を表した字です。例士君子、学士。

「役所につとめる人」という意味に使われます。例士官、上士、下士、吏士。

「りっぱな人」という意味にも使われます。例紳士、名士、義士。

また、たんに〝人〟の意味にも使われています。例兵士、戦士、弁士。

使い方

▽彼は、大学出の文学士です。

▽各界の名士が集まった、はなやかな会合でした。

熟語例

▽士君子（学問を身につけた立派な人）

▽学士（大学で学問を身につけた人。学部を卒業した人は、学士の資格をもらえます。）

▽士官（軍隊の将校のことをいいます。むかしは、役所につとめる人は、文官と武官があって、士官は武官のことをいいました。）

▽上士（江戸時代、藩につかえていた上級の武士）

▽下士（下級の武士）

▽吏士（役所につとめる人。役人のことをいいます。）

▽紳士（礼儀正しい立派な男の人。「紳士淑女のみなさん」などというふうに、男の人をうやまっていう時にも使います。）

▽名士（その道で有名な、立派な人）

▽義士（正義を守る立派な人）

▽兵士（兵隊。軍隊で戦う人）▽戦士（戦う人）

▽弁士（弁の立つ人。また説明や演説をする人）

氏

四年

画数 4
筆順 ノ 一 ㇆ 氏
オン シ
クン うじ

成り立ち

なん代にもわたってすみ、古びてかたむいた家の形を表した字です。「古くから続いた家」という意味の字で〝家がら〟という意味を表した字です。例氏素姓。

また、「一つの家から分かれた家々」の意味に使われます。例氏族。しかし、今では、多く「家の名（名字）」という意味に使われています。例徳川氏、氏名。

「家の名」という意味を表すのに、〝氏〟のほかに、〝姓〟があります。〝姓〟は、〝氏〟よりも古いむかしに使っていた「家の名」です。たとえば、新田氏や足利氏はむかしは源姓でした。それで、新田三郎源義貞というように名のりましたが、新田は〝氏〟で、源が〝姓〟です。しかし、今では〝氏〟も〝姓〟も同じ意味に使っています。例氏名＝姓名。

使い方

▽『平家物語』は鎌倉時代にできた戦記物語で、源氏と平氏の戦争を中心として描かれた、中世文学の傑作です。

▽わたしの氏名は、○○○○です。平凡な姓なので、もっとすてきな名前だったら良かったのにと思います。

熟語例

▽氏素姓（家がらや育ち。「氏素姓の知れない人とつきあうものではない」などというふうに、使います。「素姓」は「素性」とも書きます。）

▽氏族（同じ一つの家から出た一族）

▽氏名（名字と名前。姓名）

▽氏神（氏の祖先として祭る神様。また、その土地に生まれた者を守る神様）

▽氏子（氏神の子孫。また、氏神の守る土地に住む人）

▽源氏（源の姓をもった人のこと。平安時代に皇族で臣下になった人がよく源姓を名のりました。）